

令和5年度 社会貢献型後見人（市民後見人）等基礎講習 カリキュラム

	時間	プログラム	内容
1 日目 (1月28日 (火))	9:30~10:00		受付
	10:00~10:20 (20分)	オリエンテーション	・受講についての諸注意 ・会場の説明 ・出席、振り返りシート等について ・受講者自己紹介 等
	10:20~10:35 (15分)	プログラム1 講習概要	・成年後見制度に関する国の動き、行政の取組み
	10:35~11:00 (25分)		・なぜこの講習を行うのか ・社会貢献型後見人とは何か ・社会貢献型後見人に求められるもの
	11:15~13:15 (2時間)	プログラム2 被後見人等への支援の 基本的な視点	・個人の尊厳と自己決定の尊重 ・能力とは何か ・残存能力の活用について ・自己決定の特色と援助の必要性 ・後見人としての判断基準
	14:30~16:30 (2時間)	プログラム3 成年後見制度の 基本理念と概要	・成年後見制度とは ・法定後見と任意後見 ・同意権、取消権、代理権の内容と活用法 ・後見人ができること、できないこと、してはいけないこと ・実際の支援上の課題（SNSの利用についてなど）
2 日目 (1月26日 (水))	10:00~11:30 (1時間30分)	プログラム4 申立て手続きと書類作成	・法定後見申立ての流れ ・家裁への提出書類について
	12:45~14:45 (2時間)	プログラム5 対象者の理解①	・精神障害について ・支援に際しての基本的態度や留意点 ・実際の支援上の課題
	15:00~17:00 (2時間)	プログラム6 対象者の理解②	・知的障害について ・支援に際しての基本的態度や留意点 ・実際の支援上の課題
3 日目 (1月28日 (金))	10:00~13:00 (3時間)	プログラム7 支援のための法律知識	・後見人に必要な法律知識（契約、遺言、相続など） ・成年後見制度、後見業務に関連する法律知識 ・法律知識をどのように支援に活かすか
	14:00~16:00 (2時間)	プログラム8 対象者の理解③	・認知症について ・支援に際しての基本的態度や留意点 ・実際の支援上の課題
4 日目 (1月24日 (木))	10:00~12:00 (2時間)	プログラム9 消費生活相談の 実態とその対応	・消費者被害の特徴 ・消費者被害の防止方法について
	13:15~14:15 (1時間)	プログラム10 社会貢献型後見人の 活動報告	・登録後の活動について ・社会貢献型後見人の業務について （後見人として行っている支援、後見事務等） ・推進機関、後見監督人との関わり
	14:30~16:30 (2時間)	プログラム11 本人を支える福祉 サービスと社会資源	・どのような時、場合に、どのような社会資源を利用するのか ・被後見人等が利用できる社会資源の概要
5 日目 (1月19日 (火))	10:00~12:00 (2時間)	プログラム12 後見人からの実践レポート	・後見業務の流れ（就任直後、就任中、任務終了まで） ・事例を通しての実際の後見業務 （後見業務を行う上での工夫等）
	13:00~15:30 (2時間30分)	プログラム13 演習：いろいろな場面を通じ て成年後見人としての対応を 考える	・演習によりこれまでの受講内容を 統合して理解する。（グループワーク）
	15:45~16:45 (1時間)	プログラム14 振り返り	・養成講習を受講して学んだこと、今後への抱負など 受講生同志での意見交換を通して講習内容の定着を図る。 ・講師を務めた三士会から助言を受け、講習内容の理解を 深める契機とする。
	16:50~17:00 (26時間)		閉講式